



昭和電工株式会社

GPS/JIPS 安全性要約書

1. 物質名 (SUBSTANCE NAME)

ポリアクリル酸ナトリウム (CAS番号: 9003-04-7)

2. 物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

ポリアクリル酸系の水溶性高分子で、主に医薬品(外用剤)用原料、化粧品用原料、工業用増粘剤に利用されます。

3. 化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

| 項目 | 内容 |
|----------|--|
| 化学名又は一般名 | ポリアクリル酸ナトリウム |
| 製品名 | ビスコメート® F シリーズ |
| CAS 番号 | 9003-04-7 |
| その他の番号 | 官報公示整理番号 化審法:(6)-901 |
| 化学式等 | $-(\text{CH}_2\text{CHCOONa})_n-$ |
| 構造式 | $\left[\begin{array}{c} \text{CH} - \text{CH}_2 \\ \\ \text{COONa} \end{array} \right]_n$ |
| 出典・備考 | 昭和電工株式会社発行の SDS 第 3 項 |

4. 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

| | |
|------|--|
| 主な用途 | 親水性があるので各種水溶液の増粘剤に用いられます。 また、化粧品パップ剤などの外用剤としても使用されます。 |
|------|--|

5. 物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

ポリアクリル酸ナトリウムは、常温で白色の粉末です。

| | |
|--------|------------------|
| 外観 | 粉末 |
| 色 | 白色 |
| 臭い | なし |
| 融点/凝固点 | なし |
| 分解温度 | 400°C以上 |
| 燃焼性 | 粉じん爆発性はありません。 |
| 自然発火温度 | 信頼性のあるデータがありません。 |
| 蒸気圧 | 信頼性のあるデータがありません。 |

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 水への溶解度 | 10%以上でゲル状となり、液体としての取扱いは不能となります。 |
| オクタノール-水分配係数 | 信頼性のあるデータがありません。 |
| 出典・備考 | 昭和電工株式会社発行の SDS 第 9 項 |

6. ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

| 影響評価 | 結果(GHS ^(注1) 危険有害性分類) |
|---|---------------------------------|
| 急性毒性(経口) | 区分外 ^(注2) |
| 急性毒性(経皮) | 区分外 |
| 急性毒性(吸入:気体) | 分類対象外 ^(注3) |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | 分類できない ^(注4) |
| 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分外 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 区分外 |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露) | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露) | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 出典・備考 | 昭和電工株式会社発行のSDS第2、11項 |
| <p>(注1) GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals) : 世界的に統一されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報をラベルで表示し、安全データシートを提供するシステム。</p> <p>(注2) 区分外; GHS で規定する一番低い危険有害性区分より、更に低い危険有害性であると考えられます。</p> <p>(注3) 分類対象外; GHS で定義される物理的性質に該当しないため、当該区分での分類の対象となっていないもの。</p> <p>(注4) 分類できない; 分類を確定するための十分に信頼性のあるデータがなく、分類できない場合。</p> | |

7. 環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

| 影響評価 | 結果(GHS危険有害性分類) |
|--------------|---|
| 水生環境有害性(急性) | 分類できない |
| 水生環境有害性(長期間) | 分類できない |
| オゾン層への有害性 | オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書(改訂版):リストに掲載なし |
| 出典・備考 | 昭和電工株式会社発行の SDS 第 2 項 |

| 環境運命・動態 | 結果 |
|-------------|---|
| 土壤中の移動性 | 信頼性のあるデータがありません。 |
| 残留性/分解性 | 生分解性は低いと考えられます。 |
| 生体蓄積性 | 信頼性のあるデータがありません。 |
| PBT/vPvBの結論 | PBT(環境中に残留性し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する)、vPvB(環境中に非常に残留性しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する)には該当しないと考えられます。 |
| 出典・備考 | 昭和電工株式会社発行の SDS 第 12 項記載 |

8. 暴露 (EXPOSURE)

| 詳細 | 暴露の可能性 |
|-------|--|
| 作業員暴露 | <p>常温での粉体の取り扱い作業において、混合/混和、計量、梱包、解梱等に伴う作業員への経口・経皮・吸入暴露の可能性があります。高濃度の粉塵を吸入した場合など、気道を刺激したり、眼、皮膚に触れると、何らかの刺激を起こす恐れがあります。</p> <p>バッチおよびその他のプロセスでの作業において、メンテナンス、サンプリング、充填、排出および装置故障の際等に、作業員への経口・経皮・吸入暴露の可能性があります。</p> |
| 消費者暴露 | ポリアクリル酸ナトリウムは、医薬品(主に外用剤)用原料、化粧品用原料、工業用増粘剤に使用され、消費者への経口・経皮・吸入暴露の可能性は低いと考えられます。もし、高濃度の粉塵を吸入した場合は、気道を刺激したり、眼、皮膚に触れると、何らかの刺激を起こすおそれがあります。 |
| 環境暴露 | 物質の製造工程等から、主に大気及び水環境へ放出される可能性がありますが、7.「環境影響」で記載しているように、環境に対して特段問題となる影響はありません。 |
| 注意事項 | 他の用途における暴露の可能性がある場合は、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施して下さい。 |

9. 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

| 詳細 | 推奨するリスク管理措置 |
|-------|--|
| 作業員暴露 | <p>技術的対策</p> <p>空気中の濃度を暴露限度以下に保つために、排気用の換気を行って下さい。この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器や安全シャワーを設置して下さい。</p> <p>局所排気・全体換気</p> <p>製造・使用場所においては、以下の勧告値を下回る環境濃度となるように局所排気装置を設けるなどして、管理・制御して下さい。</p> <p>許容濃度</p> <p>日本産業衛生学会(2012)により、作業環境許容濃度の勧告値として、「吸入性粉塵 2mg/m³」、「総粉塵 8mg/m³(第3種粉塵)」が、また、ACGIH(米国産業衛生専門家会議 2012)により、「吸入性微粒子 3mg/m³(TLV-TWA 時間加重平均値)」、「吸入性粒子 10mg/m³」が公表されております。これらの値を下回るように、管理・制御して下さい。</p> |

| | |
|------------------|--|
| | 保護具 作業の際は、適切な保護眼鏡、防塵マスク、および粉体が透過しない材料の衣類・保護手袋を着用して下さい。 注意事項 作業責任者は、作業者に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法などの教育をして下さい。 |
| 消費者暴露 | 末端の流通製品で粉体のポリアクリル酸ナトリウムを含有している場合は、少ないと考えられますが、そのような場合は、粉塵をむやみに吸い込んだり、皮膚に大量に暴露したりしない様に注意して下さい。 |
| 環境暴露 | 環境への暴露を防止するために、河川、水路、下水溝などへの漏洩防止対策を講じるとともに、日常管理、取り扱いに注意して下さい。 |
| 特記事項（漏出時の緊急措置など） | 粉体の場合は、適切な保護具を着用し、ほうき・掃除機などで粉体のまま回収して下さい。吸水した液状の場合で高粘度のものは、使い捨てゴム手袋等の保護具を着用の上で回収して下さい。また、低粘度のものも保護具を着用の上で、ウエス・ペーパータオルに吸収させ回収して下さい。 |
| 出典・備考 | 昭和電工株式会社発行の SDS 第 6, 7, 8, 13 項記載 |

10. 政府機関のレビュー状況（STATE AGENCY REVIEW）

| | |
|--------------|---|
| 有害性評価 | レビュー状況 |
| 国際化学物質安全性カード | ICSC 番号:1429、 http://www.nihs.go.jp/ICSC/icssj-c/icss1429c.html |

11. 法規制情報／GHS 分類情報・ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION／GHS CLASSIFICATION・LABELLING INFORMATION)

法規制情報

| | |
|-------|-----------------------------|
| 適用法令 | 規制状況 |
| 食品衛生法 | 食品添加物 |
| 薬事法 | (外原規):化粧品原料 (薬添規):医薬品添加物 |
| 国連番号 | 該当しません。 |

GHS 分類情報・ラベル情報

| ハザード項目 | 分類結果(危険有害性情報) |
|------------------|---------------|
| 物理化学的危険性 | |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 区分外 |
| 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| 健康有害性 | |
| 急性毒性(経口) | 区分外 |
| 急性毒性(経皮) | 区分外 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分外 |
| 皮膚感作性 | 区分外 |

| GHS ラベル要素 | |
|-----------|----|
| 絵表示又はシンボル | なし |
| 注意喚起語 | なし |
| 危険有害性情報 | なし |

12. 連絡先 (CONTACT INFORMATION)

会社名 昭和電工株式会社
 住所 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番
 ミューザ川崎セントラルタワー23階
 担当部署 機能性化学品事業部 特殊化学品部 パーソナルケアグループ
 電話番号／ファックス番号 044-520-1382／044-520-1383

13. 発行・改訂日、その他の情報 (DATE OF ISSUE / REVISION, ADDITIONAL INFORMATION)

発行日：平成25年1月4日

改訂：

| 改訂日 | 改訂項目 | 改訂箇所 | 版 |
|-----|------|------|---|
|-----|------|------|---|

特記事項：

14. 免責条項 (DISCLAIMER)

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み(GPS/JIPS: Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。本安全性要約書の目的は、対象品に関する安全な取扱いに関する情報を概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全性データシート(SDS)や化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。本安全性要約書は、発行時点で入手可能な法令、資料、情報等のデータに基づいて、できる限り正確な記載に努めておりますが、すべてのデータを網羅したわけではありません。また、いかなる保証をするものでもありません。